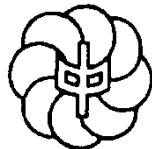


〈自治の精神を貴び、知・徳・体をバランスよく育む〉



学校だより

杉並区立宮前中学校

令和7年7月18日(No.4)

暑い、熱い夏が始まりました

校長 仙浪 辰郎

毎年この時期になると必ず訪れる場所があります。それは、高校野球の地区予選を見学に、いろいろな球場に出かけては勇気や感動をもらっています。先週の日曜日、ちょうど都合の良い時間に、知り合いが監督を務めている都立高校の試合があり応援に行きました。9回表まで1点差でリードしているながら、最終回に2点失い逆転サヨナラ負けという残念な結果となってしまいました。マウンドで呆然とする選手や泣き崩れて座り込む選手を見ていると、本当に感動で胸がいっぱいになると同時に、高校野球の美しさや素晴らしさ、そして野球の面白さを十分に味わわせてもらいました。

さらに高校野球の話題をもう一つ。7月7日、神奈川県大会の開会式が開催されました。その選手宣誓の動画をSNSで見て、大変感動したので紹介させていただきます。

一昨年度、夏の全国高校野球選手権大会の優勝校で、今回172チームを代表した慶應義塾高校山田主将の言葉です。「七夕の日に願います。今年も神奈川大会が最高の大会になりますように」という言葉から始まりました。そして、「最高の大会は数多くの試合で作り上げられます。いい試合には選手全員のいい顔があふれています。私の考えるいい顔とは、真剣勝負の顔、ナイスプレーに喜ぶ顔、そして大好きな野球を全力で楽しむ顔です。しかし、その顔は自分一人では作ることはできません。チームメート、支えてくれる家族、指導者、関係者の方々はもちろん、同じ野球を愛する相手がいるから成り立つものです。ここで選手の皆さんにお願いがあります。今大会中、お互いのチームの好プレーに対して拍手や歓声を送り、称え合うことをしませんか。試合の中で、お互いを認め合い、試合の後、このチームと戦うことができて良かった。そう思える良い試合が続く、そんな最高の大会にしませんか。私たち選手一同は、ありがとうの気持ちを忘れず、いい顔で、常にチャレンジし続けることを誓います。」という今までに前例のない、新鮮な内容でした。

「最高の大会にしませんか」という選手への呼びかけの宣誓にも驚かされましたが、開会式後の山田主将のインタビューで、「お互いがリスペクトしあって試合を進めていきたいとずっとと思っていた」という意識の高さにも驚かされ、同時に高校生の爽やかさや純粋さあふれる回答に感心しました。誰もがこのチームのこのメンバーと1日でも長く、1試合でも多く勝ち進んでいきたい。そしてこの試合で引退たくないという思いで全力でプレーする。ただしそれは自分たちだけではなく相手も同じである。だから、良いプレー、すばらしいプレーは認め合い、称え合う。そんな試合が続くことを願い、ずっとと思っていたというこの高校生に、試合前から深く感動させられてしまいました。

さて、世の中にはスポーツに限らず勝敗や合否、優劣の判断を付けられるできごとがあふれています。しかし、負けたり、人より少し劣っていたりすることで、全てが終了するわけではありません。それはもっと自分を成長させるチャンスであったり、次への挑戦や目標を見つける機会を与えられたと考えて前向きに捉えられるかがとても重要です。高校生の宣誓のように、相手の良さを認め、リスペクトしながらも、自分の良さも認めてもらい、目先の結果だけにとらわれず、称え合うことができる野球大会、それだけでなく学校や社会もそうなっていかなければと考えさせられた、有意義な1日でした。

7月の学校生活・生徒の様子

3年修学旅行(7月2日～4日)



小中合同研修会(7月9日)



ダンス部3年生最終公演(7月15日)



9月学校行事予定

日	曜	学校行事等
1	月	始業式 給食なし
2	火	避難訓練
3	水	各種委員会
4	木	小学生体験授業（久我山小）
5	金	生徒会役員選挙
6	土	
7	日	
8	月	学校公開週間（始）
9	火	小学生体験授業（荻窪小①）
10	水	
11	木	小学生体験授業（荻窪小②）
12	金	学校公開週間（終）
13	土	
14	日	
15	月	敬老の日
16	火	学習教室
17	水	学習教室
18	木	定期考査Ⅱ
19	金	定期考査Ⅱ
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	秋分の日
24	水	各種委員会
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	

* 予定変更の場合は改めて連絡いたします。

